

平成21年度第2回墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会議事要旨

日 時： 平成21年11月2日(月) 午後2時00分～4時00分

場 所： 101会議室(区役所庁舎10階)

- 議事内容：
- 1 全体会...推進協議会長あいさつ、鈴木部長あいさつ
 - 2 資料の説明
 - 3 議題 (1)すみだ子育て・子育て応援宣言
墨田区次世代育成支援後期行動計画
(平成22年度～平成26年度)
中間のまとめ(案)について
(2)シンポジウムについて
 - 4 その他...事務連絡

【配布資料】

- 資料1 すみだ子育て・子育て応援宣言
墨田区次世代育成支援後期行動計画(平成22年度～平成26年度)
中間のまとめ(案)
- 資料2 シンポジウムについて

墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会 委員名簿

氏 名	所 属
布施 英雄	共愛館理事長
澁谷 昌史	関東学院大学准教授
野原 健治	興望館館長
長田 朋久	横川さくら保育園長
増田 理枝子	増田小児科医院長
本多 義敬	両国幼稚園理事長
服部 栄	雲柱社理事長
大串 紀代子	両国子育てひろば施設長
鈴木 和美	主任児童委員
山下 洋史	男女共同参画推進会議委員長
雁部 隆治	小学校PTA協議会会長
田村 亨	中学校PTA連合会
須貝 利喜夫	青少年委員
田口 武司	文花中地区青少年育成委員会
野城 東亜子	墨田区少年団体連合会
小菅 崇行	小菅株式会社代表取締役社長
西村 孝幸	小梅保育園代表
田口 典子	公募委員
小平 多津子	公募委員
上野 悦子	公募委員
荒木 尚子	緑幼稚園長
伊藤 隆雄	緑小学校長
松本 憲一	墨田中学校長
鈴木 陽子	子育て支援担当部長
細川 保夫	福祉保健部長
坂本 康治	教育委員会事務局次長
麻場 富喜子	江東橋保育園長

推進協議会長 推進協議副会長 分科会長

事務局

子育て計画課長 岩佐一郎
 児童・保育課長 関口芳正
 子育て支援総合センター館長 今泉峰子
 子育て計画課 染谷、有澤、佐藤

1 全体会…推進協議会長あいさつ、鈴木部長あいさつ

(会 長) 第2回墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会を開催いたします。本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。5月に第1回墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会を開催してから約半年間、乳幼児期と児童・青年期分科会で検討後、事務局がまとめお手元の「中間のまとめ」ができました。皆様のご尽力により、大変立派なものできたと考えています。今後、区長のご意見をいただき、手直しをした上で、第3回墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会において最終決定をするという手順になります。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

(子育て支援担当部長)

お忙しい中ご出席してくださり、ありがとうございます。約半年間にわたりご議論いただきまして本当にありがとうございます。先日、平成20年度決算特別委員会が開かれました。子育て支援関係では、会派を問わず「待機児対策」についてご質問がありました。もう一つ「区政全般」についてもご質問がありました。経済状況が悪化してきている中、来年度の墨田区一般会計の予算規模は税収、財政調整交付金を合わせて約35億円の減収になるといわれています。来年だけではなく今後どういう経済状況になっていくのか、全国的にもはかりしれないところがありますが、子育て施策は、将来の社会システムの基盤になるものと考えています。本日、具体的な施策をお示しましたので、ぜひ皆様のご意見をいただきながら、良い計画をつくっていきたいと思っています。今後は12月4日の区議会の中で「中間のまとめ」としてご報告をさせていただいたあと、区民の方のご意見をいただくパブリックコメントを行います。そのあと取り入れることのできるご意見を反映させて、3月に計画を決定していきます。これからも皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

2 資料の説明

(会 長) それでは、お手元の資料については追加されたものもありますので、事務局から資料説明をお願いします。

- 資料説明 -

(会 長) 計画案について、特に変わった点、新しい点について説明をよろしくお願いいたします。

- 資料説明 -

3 議題

(1) 中間のまとめ(案)について

(会 長) お気づきかと思いますが、分科会で話し合った事柄だけではなく、今まで話に出ていなかった新しい取り組みなども加えられています。分科会で話し合ってきたことについて、数量的な面でこのくらい増やすとか、これでは足りないのではないかなどの点があれば、ご指摘をいただきたいと思います。

(委 員) 44番の母子健康手帳の交付についてです。「継続して実施する」とありますが、中身について色々話し合ったことを踏まえて「さらに充実を図った上で、継続して実施する」とした方が良いのではないのでしょうか。今までとあまり変わらない気がします。184番の子育て手帳が同時配布なのではないでしょうか。

(会 長) 母子健康手帳は、法律に定められているので手を加えることはできません。子育て手

帳を新たに作り、皆さんが利用しやすいような情報やマップ等も盛り込んでいくのはどうかという提案です。

(委員) 同時に配布ということですか。

(会長) そういふことになると思ふます。子育て手帳にポケットをつけて、そこへ母子健康手帳を入れられるようにするなど、ばらばらにならないように工夫もすれば良いと思ふます。

(事務局) 各課へのヒアリングの際に、分科会で討議された内容はすべて伝えてきました。母子健康手帳交付時には、分科会で提案された内容が全部網羅された冊子が「母と子の保健バック」の中にまとめられ、保護者の方に渡っています。また、母子健康手帳は法律で定められていることから、何種類かの決まった形式があるそうです。中の文面について加筆等はできますが、そのためには庁舎全体でプロジェクトを組み話し合う必要があります。その時間と経費等を含めた労力は、莫大なものとなります。その結果、母子健康手帳は現状のままとし、新たに子育て手帳(こどもダイアリー)の作成をご提案させていただきました。子育て手帳については今後検討となりますが、子どもの成長の記録を残せるようなもの、母子健康手帳と一緒に保管できるような形式等を考えています。

(委員) 66 ページの 112 番、113 番についてです。障害をもっている中学生のお子さんの放課後の居場所が問題になっていて、ニーズは高いと思ふます。この 2 つは内容が同じなので 1 つにして、このことについて取り組む、という文言を入れていただきたいと思ふます。

(会長) 2 つにわけてあるのは担当する課が違うということだと思います。2 つでワンセットということはあるとは思ふのですが、主管課が違うということで、別々に掲げて連携をとってやっていくということになります。

(委員) 具体的に展開すべきことだと思ふしていますが、なかなか難しい現状はあると思ふます。墨田区の学童クラブでは 6 年生まで預かっています。その後の中学生については、まだ見通しがありません。そのことについて親からよく問われます。今児童館などでは保護者が困った時にお受けしています。その対応が求められているところです。

(事務局) 計画の位置づけとしては、今ご指摘いただいた事業は障害のある子どもの発達と成長支援という位置づけになっていて、中学生の居場所づくりとしては 37 ページの児童館事業のところに入れさせていただきました。

(委員) 保育園の障害児の認定人数は入っていますが、学童クラブにも人数を入れたらどうでしょうか。

(事務局) 学童クラブの問題は認識しています。学童クラブは 10 歳位までが対象なので、学童クラブで中学生以上の子どもを受け入れるかどうかというのはまた別の問題です。どちらかというとならば 113 番の放課後対策のところ、今後検討させていただければと思ふます。また、障害児の学童の受け入れ人数ですが、障害認定は難しく、現在気になるお子さんには職員を配置して受け入れているのですが、全員が障害認定を受けている訳ではないので、人数を記載するのは難しいところです。

(会長) 37 ページの 2 番の学童クラブには、人数は入りませんか。

(委員) 人数が入らなければ、どのくらい実施されているのかがわかりません。認定委員会で

出ている人数だけでも、入れたほうが良いと思います。

(会 長) そうですね。学童についてもきちんと人数を明記したほうが良いと思います。

(事務局) 保育園の場合は厳格に障害手帳や愛の手帳を持っている方の人数を把握しています。学童クラブの場合は手帳の有無ということよりも、実際に育成していく中で、このお子さんは手厚い対応が必要ですよというかたちで、認定委員会で認定していくので、数としてはかなりの数になります。

(委 員) わかりました。

(委 員) 教育委員会から事業の追加をお願いします。75 ページの地域の子育て力の育成と協働の部分です。平成 21 年度の新規事業で「学校支援ネットワーク事業」を立ち上げました。学校にコーディネーターを配置して学校のニーズを把握し、そのニーズに応じて地域人材を派遣するという事業です。東京商工会議所墨田支部の方にもお世話になっています。地域の皆さんと学校とを橋渡しするという事業であり、それを平成 21 年度に立ち上げたばかりですので、ぜひ入れていただきたいと思います。すみだ教育研究所が所管です。

(子育て支援担当部長) 早速入れさせていただきます。

(事務局) 職業体験とは違うのですね。

(委 員) 職業体験先を探すということです。

(会 長) これは、135 番の学校における地域人材の活用とは別ですか。

(委 員) よく似た部分もありますが、事業名として出していきたいと思います。

(委 員) 30 ページ、5 つの宣言のあとに 5 つの施策が続いています。これ以降の宣言に単に番号を入れるのではなく、「宣言 子ども達をたくましく心豊かに育てます」と入れたほうがわかりやすいと思いました。

(会 長) わかりました。

(委 員) 各事業の所管課の部分に問い合わせがしやすいように、電話番号をつけてはどうでしょうか。結局こうした冊子をつくっても宣伝不足で知らなかったという方が多いので、すぐに利用できるようなと良いと思います。

(会 長) 事業名のところに電話番号を入れるということですか。

(委 員) そうです。各宣言ごとに担当部署はわりとまとまっているので、そんなに大変ではないと思います。

(事務局) 5 年計画なので途中で変わる可能性はあります。

(子育て支援担当部長) 1 つの課の中にも電話番号はたくさんあり、担当ごとにわかれています。

「いきいき子育てガイドブック」などには問合せ先が全部入っています。これは、行動計画なので使い分けが必要かと思います。

(委 員) ガイドブックには詳しく出ているのはよくわかるのですが、計画書を手にして事業について質問したいと思った時に、問合せ先がないということになります。

(委 員) 参考資料として一覧を入れても良いですね。

(会 長) 事業名のところに入れるよりも、その方が良いと思います。

(委 員) 一覧を入れるのであれば、地図もあると良いと思います。

(会 長) 担当の電話番号は一覧で最後に添付するとして、地図はガイドブックがあれば良いと思います。

- (委員) 21番についてです。日本語のわからない乳幼児を抱えたお母さんに母子健康手帳配布時、通訳ボランティアのお知らせだけでもしたら良いのではという意見があったのですが、その事業はどこにいつってしまったのでしょうか。乳幼児を持つ外国人のお母さんを対象とした施策が一切ない気がします。
- (事務局) 保健計画課や保健センターへのヒアリング時にも聞いてきました。実際に墨田区では中国語、タイ語、タガログ語の3か国語が主になるそうです。その方たちにはその都度丁寧に対応しているそうです。冊子を読むということが難しいので、91ページの187番、区のホームページを外国版にするということで、インターネット上で見れるような形式にしたいと考えています。
- (委員) それは新規事業ではないのですか。
- (事務局) 今あるものを外国版にするということで、新規の扱いにはしていません。
- (分科会長) 区のホームページはもう外国版になっていると思いますが。
- (委員) すでにやっているのなら、なおさら実績に載せるなどしたほうが、PRになるのではないのでしょうか。
- (事務局) 子育て関係のホームページを、もっとわかりやすくコーナーとしてつくる予定でいます。それも外国版にできるように広報公聴担当と調整しています。
- (委員) 窓口対応は現状のままで大丈夫ということですね。
- (事務局) 保健センターがかなり丁寧に対応してくださっています。
- (会長) 182番のホームページに外国版を入れるということであれば、文言を1行加えてもらえば良いですね。そしてここでやっていることがわかれば良いと思います。
- (委員) 事業に対してですが、57ページの82番、「保育所における質の向上のためのアクションプログラム」とありますが、学童クラブは「アクションプログラムやガイドライン」の設定などはしないのでしょうか。学童クラブには色々な形態、取り組みがあるので、最低限のガイドラインをつくれませんか。
- (委員) それは東京都が出しています。
- (事務局) 東京都でも国でもガイドラインをつくっていて、区はそれに基づいて行っています。区独自のガイドラインをつくらうというご意見もあると思いますが、当面は現状のままで良いのではないかとみています。保育所は、国の方針でも質の向上を強く求められています。学童クラブは保育所と違って明確なものがないのですが、37ページ1番の児童館事業、「子どもを取り巻く問題へのサポート機能～職員の基礎的技術(ソーシャルワーク・カウンセリング・コミュニティーワーク)の向上を図りながら実施します」というところで、児童館、学童クラブの職員を含めて、質の向上を高めていこうという企画をさせていただきました。
- (会長) 表現がぴったりとしていない内容があると思いますが、今後、推進協議会を進めていく中で、色々な取り組みをチェックしていきながら、新しい取り組みをどういうシステムでやったら良いか、どういう協力をしたら良いかを検討をしていきます。その中で具体的な見方が出てきて、次の段階で計画を補うことができると考えます。
- (委員) 乳幼児期の分科会では町会の話がたくさん出ましたが、それはどこにありますか。
- (会長) 町会の協力や合意をとりつけることや、協力体制をお互いにどう組み立てるかということが今後の課題です。今回はそこまでは明記されていませんが、これから具体的に

詰めていくということで、ご了解いただきたいと思います。

(委員) 129番になんとか入っているということでしょうか。

(委員) 会議では具体的に話をしていたので、それでは抽象的ですね。

(会長) そのような部分があると思います。それは、今後の課題として具体化していこうということですが、それでは今後区議会にかけ、最終的なものを、第3回推進協議会において承認をすることによってさせていただきます。この中間のまとめについては、これでよろしいですか。

(委員一同) はい。

(会長) ご了解いただきました。ありがとうございます。

(2) シンポジウムについて

(会長) 次の議題はシンポジウムについてです。事務局より説明をお願いします。

- 資料説明 -

(分科会長) 区民の皆さんがわかるような題名がほしいです。テーマは決まっていますが、シンポジウム自体の題名があるといいですね。

(分科会長) 題名があつてテーマはこれですよ、ということですよ。その名前を急いで考えなくてはいけいではないのでしょうか。また、配布先についてですが、企業がぬけているので、小菅委員に商工会議所の方々にチラシを配布していただくよう、お願いできればと思います。

(委員) 託児ですが、先着10名というのは少ないのではないのでしょうか。シンポジウムのターゲットからみても安心して参加できるようにもう少し人数が多いほうが良いと思います。また、前もってわかれば安心して参加することができます。

(委員) 先着予約なので大丈夫です。11月21日より受付を開始します。

(委員) 予約制なので、わかりました。

(会長) シンポジウムの題名について、何か良いご意見はありますか。

(委員) 「すみだ子育て・子育て応援宣言」という言葉がすごく良い気がします。私たちもこれで進めてきたので、いかがでしょうか。

(会長) 良いですね。シンポジウムを小さい字にして、すみだ子育て・子育て応援宣言という言葉に『』をつけて大きく題名としましょう。

(委員) シンポジウムの内容を、参加できない方のためとPRのためにホームページにアップしていただくと良いと思います。

(委員) レジюмеがあると良いですね。

(委員) 先進事例と書いてありますが、正直レジюмеまでは厳しいです。

(委員) シンポジウムの時の配布物に概要版とアンケートを入れるということであれば、ただ配るというのではなく、鈴木部長から中間のまとめをするまでの経緯などをご説明いただくと良いのではないのでしょうか。

(子育て支援担当部長) パブリックコメントの期間中なので、そのご案内もかねて最後のあたりにどうでしょうか。

(委員) 流れとして、基調講演後のシンポジウムの前にお話しただいた方が良いと思います。そこから実際的な話に入っていくので、わかりやすいと思います。

- (委員) それだと本当に宣伝になってしまいます。
- (会長) 私は開会の言葉として一番最初に入れたら良いと思いますが。
- (事務局) 冒頭は、区長のあいさつがあります。
- (会長) それでは、区長のあいさつのあとに、今までの経緯を含めた中身の紹介をしていただくために、部長にあいさつをお願いするというかたちにしたいと思います。
- (委員) チラシの中にはこのシンポジウムの意図が文言できちんと入りますか。部長の言葉でなくてかまわないので、入れたほうが良いと思います。
- (委員) 前回、応援宣言の最後に各委員の方々から応援メッセージをいただきましたが、話し合いや記録とはまた別に、区民の皆さんと一緒に次世代育成について考えましょうという応援宣言は良かったと思います。後期版にもメッセージを載せたらどうかと思います。シンポジウムに間に合うようにメッセージ集だけ先につくってはどうかでしょうか。しかし、せっかくなのでシンポジウムで委員の応援集として活用できないかということです。
- (事務局) シンポジウムに向けてということではよろしいですか。
- (委員) はい。
- (会長) では、皆さんに書いていただきますので、よろしくお願いします。それでは完成版に応援メッセージを載せるということと、シンポジウムには応援集ということで間に合わせましょう。各方面に何人くらいの参加を期待しているのですか。
- (子育て支援担当部長)
- イベントホールが広い会場なので、200人位は参加してほしいと思います。200人の参加でも会場に空きが目立つと予想されるので、300人集まれば良いと思います。
- (会長) 一般区民の方がおいでくださるのは大歓迎です。また、子育て支援に関して実際活動する人たちを網羅したいと考えています。そういう人たちの協力で子育てを支える地域のつながりやシステムがつくられていき、またその中から区も含めた取り組みが展開されていくというかたちをとりたいのです。一般の方に、「このような行動計画ができました」というご紹介をすることではなくて、計画を基にして、どうやって手をつなごうかという提言をしてきたいのです。かなり幅広くそういう人たちを集めてくださると良いと思います。
- (事務局) 委員の皆様にもぜひご動員をいただければと思います。
- (会長) シンポジウム自体はこの計画をつくった私たちの仕事です。当日はぜひご協力をお願いします。
- (事務局) 学校関係では、PTA役員や保護者に周知できるように考えています。
- (委員) チラシはたくさんつくるのですか。どのように配布するのですか。
- (事務局) 庁内では主要な課にチラシを置いてもらい、保健センターや子育て広場を始め関係各所にはポスター・チラシを送付し案内します。
- (会長) チラシは置いてある場所に気づかないと終わってしまうので、ポスターなどが目につくと思います。

4 その他...事務連絡

- (事務局) それでは今後の予定についてお知らせします。第3回推進協議会は平成22年2月

頃に開催予定です。また中間のまとめのパブリックコメントは、12月12日から12月27日まで行います。12月11日発行の区報とホームページで案内します。また、12月13日にはシンポジウムを開催いたしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

- (会 長) パブリックコメントの結果は、第3回推進協議会時にご報告いただけるのですか。
- (事務局) 区民参加の一環ですので、コメントに対しては、それに対する回答とコメント自体をどう受け止めるかを検討する必要があります。場合によっては、それによって計画を修正する部分が出てくる可能性もあります。
- (会 長) 説明するだけですむこともあれば、本文に反映させなければならないこともあり、その場合には第3回推進協議会で最終的に話し合うということですね。全体を通してご意見、ご質問がないようでしたら、第2回墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会を閉会いたします。